

ここではTelePortの便利な使い方を説明致します。様々な設定や使用方法をマスターして、TelePortを活用して下さい！

① TelePort を使いこなしましょう

- ワンタッチ通信ボタンを活用しましょう _____ 39
- 色々なリモコン操作をマスターしましょう _____ 41

② 便利なかけ方

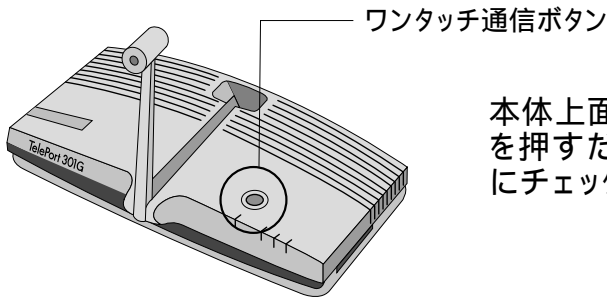
- 通信履歴からかけるには _____ 44
- 詳細設定してかけるには _____ 44
- 短縮ダイヤルからかけるには _____ 45
- 短縮ダイヤルの登録方法 _____ 45
- 文字入力をマスターしましょう _____ 46
- 保留機能を使うには _____ 47

③ アイコンを使いこなしましょう

- バージョンアップ _____ 48
- チェックインテスト _____ 49
- ギンガネットクラブ情報 _____ 49
- サポートダイヤル _____ 49
- 拡張機能 _____ 50
- 設定 _____ 50
 - ・会員情報設定 _____ 51
 - ・端末設定 _____ 52
 - ・映像音声設定 _____ 52
 - ・発信設定 _____ 53
 - ・着信設定 _____ 54
 - ・保守 _____ 54
- 議長機能サービス _____ 50

① TelePortを使いこなしましょう

ワンタッチ通信ボタンを活用しましょう



本体上面右側の「ワンタッチ通信」ボタンを押すだけで、リモコンを使わず、手軽にチェックインやブレイクができます。

使用パターン



A 予約済のサービスへチェックインできます。

非通信中にこのボタンを押すと、「01.予約済サービスへワンタッチでチェックイン」(37「予約制のプラザネットサービスを利用するには」)につながります。(お買い上げ時の設定)

サービスを予約していない場合はつながりません。

設定によりボタンを押した時に、チェックインするサービス先を変更することができます。

(53「発信設定 ワンタッチ発信」)

B 特定の相手にワンタッチでつながります。

あらかじめ短縮ダイヤル番号を設定しておけば、ワンタッチ通信ボタンを押すことで、特定の相手につなげることができます。(45「短縮ダイヤルの登録方法」)

C 通信中に押すと、ブレイク(切断)します。

通信中に、2回続けてこのボタンを押すと、ブレイクできます。

D 着信時に押すと、応答します。

ダイレクトネットで、相手先から着信があった場合、このボタンを押すと応答できます。

(35「TelePortで着信を受けるには」)

応答の
順序

着信音が鳴ったら、このボタンを押します。

ヘッドセットを着けて応答します。

相手がTelePort(またはその他のギンガネット電話)の場合は、テレビの電源を入れ、チャンネルを合わせます。

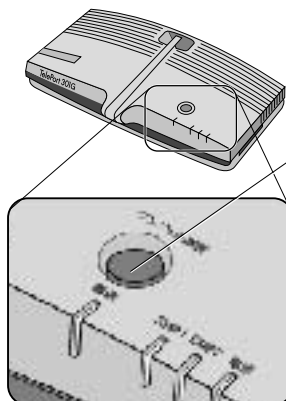
ご自分の映像を映したい場合は、カメラをセットします。

注意 ご自身の映像を見られたくない場合は、カメラを起こさないで下さい。

ボタンを押して応答すると、その時点からカメラの映像は相手に送られています。カメラがセットされている場合、テレビの電源を切っていて相手の画像が見えなくても、こちら側の映像は相手には見えていますのでご注意ください。応答しても相手にご自分の映像を見られたくない場合、カメラを収納して下さい。この場合、相手側には黒い画面で映ります。

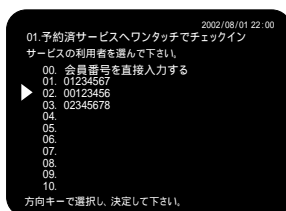
ワンタッチ通信ボタンでの接続方法

1 ワンタッチ通信ボタンを押しましょう



非通信中にワンタッチ通信ボタンを押します。

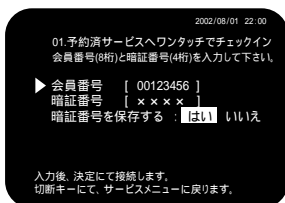
2 サービスの利用者を選択しましょう



ワンタッチ通信ボタンを一回押すごとに「01」に登録されている会員 「02」に登録されている会員…の順に三角のマーク(▶)が一つずつ下がっていきます。ご自身の番号の横に三角のマーク(▶)がくるまでワンタッチ通信ボタンを複数回押して下さい。

ボタン操作の間隔が3秒以上空いてしまうと、その時点で選択されているサービス利用者で接続が行われますのでご注意ください。

3 接続をしましょう



選択したいサービス利用者の横に三角のマーク(▶)がある状態で3秒間待つと、選択しているサービス利用者で自動的に接続を行います。

サービスを予約していない場合はつながりません。ボタンを押した時に、チェックインするサービス先は設定により変更することができます。

(53「発信設定 ワンタッチ発信」)

4 サービスをお楽しみ下さい

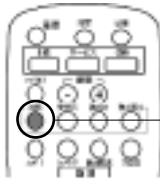
色々なリモコン操作をマスターしましょう

1 送信画

送信画(自分)



受信画(相手)



相手に送っている自分の映像を確認します。通信中にこのボタンを押すと、相手側に送っている自画像(送信画)を、ご自身でチェックすることができます。「子画面」ボタンを押すと、子画面には相手側の映像(受信画)が表示されます。(P.30「子画面」)

2 静止画送信

送信画を静止画として送ります。

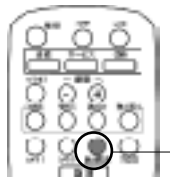
受信画(相手)



送信画(送りたい画像をカメラに映します。)

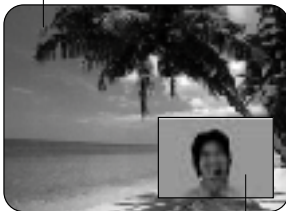
TelePortは、通常の画面より高精細な静止画を互いにやり取りすることができます。この静止画は通信中最新の1枚だけを保存することができます。ただし、ブレイク(回線切断)すると保存されている画像は消えます。

(1) 送信したい画像をカメラに映し「静止画送信」ボタンを押します。



相手側に数秒～十数秒で、その画像が静止画として届きます。

静止画



受信画(相手)

(2) 双方に静止画が表示されます。

子画面には、相手側の映像(受信画)が表示されます。

(3) 静止画表示を解除する場合は、「受信画」ボタンを押します。

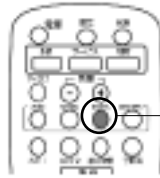
このボタンを押すと、同時に通信しているすべての方の画面上に子画面が表示されます。「子画面」ボタンを押すと、子画面表示は消えます。

誤って静止画を送信してしまった場合は、「受信画」ボタンを押して、静止画表示を解除して下さい。



他地点をつなぐサービスの利用中は、他の会員の方の迷惑になる事がありますので、「静止画送信」ボタンをむやみに押さないようご注意ください。

3 静止画大



保存されている静止画を、フルスクリーンで表示します。

静止画をフルスクリーン表示し、子画面に相手側の映像(受信画)を表示します。

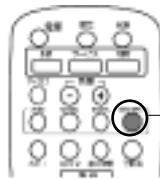
一旦静止画表示を解除しても、このボタンで再度表示することができます。(ただし、切断すると同じ静止画を表示することはできません。)

4 静止画小

受信画(自分)



静止画(相手)

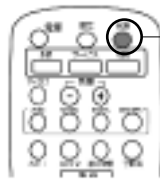


保存されている静止画を、子画面に表示します。

相手側の映像(受信画像)をフルスクリーン表示し、子画面に静止画を表示します。

一旦静止画表示を解除しても、このボタンで再度表示することができます。(ただし、切断すると同じ静止画を表示することはできません。)

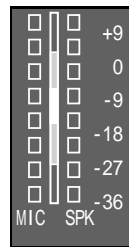
5 状態



通信状態の概要が表示されます。

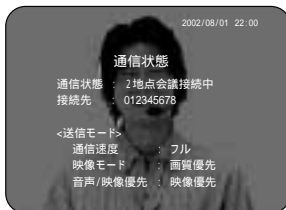
「状態」ボタンを1回押すと、左上に表示画面の種類、右上に時刻、左下に音声レベルメーターが表示されます。

音声レベルメーター



「MIC(マイク)」にヘッドセットのマイクや外部入力からのボリューム、「SPK(スピーカ)」にヘッドホンからのボリュームが表示されます。

メータの緑色の部分が適正值です。ご自身のマイク音量が大き過ぎたり小さ過ぎたりする場合は、マイクの向きと口元からの距離を調節して下さい。



通信状態の詳細が表示されます。

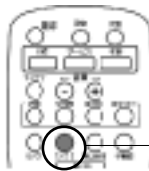
「状態」ボタンを2回押すと、チェックイン先や通信

状態の詳細が表示されます。リモコンの「移動」ボタンを左右どちらかに押すと、

送信モード 受信モード 設定モード が切り替わります。

もう1度「状態」ボタンを押すと、表示は消えます。

6 カメラ 2



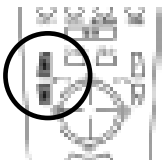
外部カメラからの映像を表示します。

外部カメラを取り付けた場合に、そのカメラの映像を表示させるためのボタンです。

何も取り付けなかった場合は、真っ黒な画面が表示されます。

お持ちのデジタルカメラ・ホームビデオ・その他映像機器を接続して、その画像を楽しむことができます。

7 改ページ



表示画面が複数ページにわたる場合に使います。

サービスメニュー画面のように、表示画面が複数ページに渡る場合は、このボタンでページごとの移動ができます。

8 ズーム



ズーム時の画像(16段階切替可能)



自分側のカメラのズーム機能を制御します。

「T」ボタンでズームインします。

(画像が拡大していきます。)

拡大した分、画質が粗くなります。拡大した状態で「移動」ボタンを上下左右に押し、画面の表示位置を調節できます。

「W」ボタンでズームアウトします。



普通のサイズ

ズームの
調節方法

「ローカル」ボタンを押すと、自分のワーブゲイトのカメラを調節することができます。

「移動」ボタンでカメラの向きを、「ズーム」ボタンでズーム機能を調節します。

「子画面」ボタンを押すと、もとのモードに戻ります。

この時、相手が可動式カメラ(別売り)を接続している場合は、相手カメラも調節できます。「リモート」ボタンで相手側カメラの調節に切り替わり、「ローカル」ボタンで自分

(52「映像音声設定」)

● 自室送信

ミーティングネットサービス等、多地点で接続して通信を行う場合に

「T」ボタンで自分以外の参加端末にカメラ映像がフルスクリーンで表示させることができます。

「W」ボタンで、自室送信機能を解除します。

(60「自室送信」)

2 便利なかけ方

通信履歴からかけるには

「通信履歴」には、ご自身のTelePortが発信もしくは着信した通信相手の電話番号が残ります。履歴に残った番号にかけることや、履歴に残った番号を短縮ダイヤルに登録することができます。



通信履歴表示画面

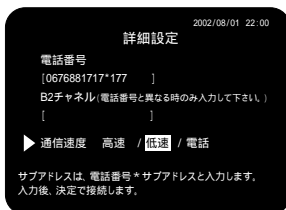
- (1) 「通信履歴から接続」を選択します。
三角のマーク(▶)で選択し、「決定」ボタンを押すと、通信履歴表示画面になります。
- (2) 相手を選択します。
通信履歴表示画面から発信したい相手先の番号に、「移動」ボタンで三角のマーク(▶)を合わせます。または、各電話番号の先頭へ順に振られている2桁の番号を「数字キー」で入力しても、三角のマーク(▶)を合わせることができます。
- (3) 「決定」で接続します。
「決定」ボタンを押すとダイヤルします。相手の方が応答するのをお待ち下さい。

着信時に「取消」を押すと「拒否」の履歴が残ります。また、NTTの「通信中着信通知サービス」を契約されている方は、TelePort通信中に着信があった場合「話中」の履歴が残ります。通信履歴に残った番号を選択し、「*」を2回押すと、短縮ダイヤルに登録できます。
(▶ 45「短縮ダイヤルの登録方法」)

詳細設定してかけるには

B2チャンネルが異なる相手にかける時、通信速度を変更してかけたい時(高速/中速/低速)、一般電話(携帯電話・PHSを含む)にかけたい時にこの設定をします。

⚠ IP通信回線から一般電話(加入電話)や携帯電話、PHSにはかけられません。



詳細設定画面

- (1) 「詳細設定して接続」を選択します。
三角のマーク(▶)で「詳細設定して接続」を選択し、「決定」ボタンを押すと、詳細設定をする画面になります。
- (2) 電話番号を入力します。
必要なら、B2チャンネルの番号と、通信速度を設定します。
- (3) B2チャンネルの番号と通信速度を設定します。

通信速度の設定変更について

電話やFAXを使用したり、インターネットに接続しながら同時にTelePortで通信したい場合

通信速度を「低速」に設定します。
映像と音声の品質を半分に落とすことで、以下の通信を可能にします。

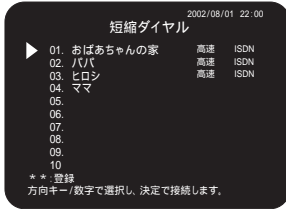
別の通信機器を使用しながら、TelePortで通信ができます。

この設定はダイレクトネットサービスでのみ有効です。設定を何も変更しない場合は、「高速」で通信します。

- (4) 「決定」ボタンを押して接続します。
「決定」ボタンを押すとダイヤルします。相手の方が応答するのをお待ち下さい。

短縮ダイヤルからかけるには

短縮ダイヤルによくかける相手先を登録しておけば、簡単な操作でかけられます。



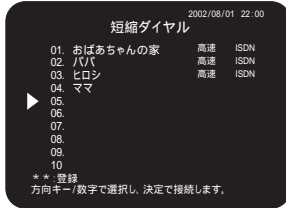
短縮ダイヤル画面

- (1) 「短縮ダイヤル」を選択します。
三角のマーク(▶)で選択し、「決定」ボタンを押すと、短縮ダイヤル画面になります。
- (2) 相手を選択します。
短縮ダイヤル表示画面から発信したい相手先の番号を「移動」ボタンまたは「数字キー」で選択し、三角のマーク(▶)を合わせます。

- (3) 「決定」ボタンで接続します。
「決定」ボタンを押すとダイヤルします。相手の方が応答するのをお待ち下さい。

短縮ダイヤルの登録方法

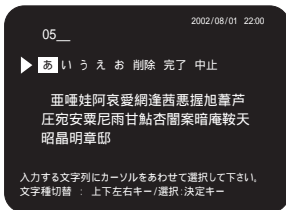
1 登録番号を選択しましょう



登録番号選択画面

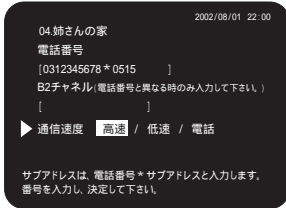
- (1) ダイレクトネット画面より「短縮ダイヤル」を選択して、「決定」ボタンを押します。
- (2) 「移動」ボタンで短縮登録したい番号を選んで、「*」ボタンを2回押します。

2 名前を入力しましょう



- (1) 文字種を「移動」ボタンで選択します。
(☞ 46「文字入力をマスターしましょう」)
- (2) 文字を「移動」ボタンで選択します。
- (3) 「完了」を選択し、「決定」ボタンを押します。
入力した設定を破棄して設定メニューに戻る場合は「中止」を選択し「決定」ボタンを押します。

3 電話番号を入力しましょう

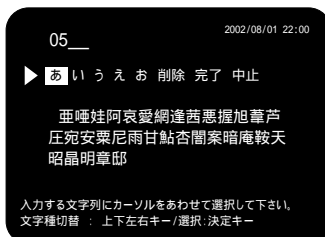


- (1) 電話番号を入力します。
「数字キー」で登録する相手の電話番号を入力します。
サブアドレスがある場合には「電話番号*サブアドレス」と入力して下さい。
訂正したい場合は「取消」ボタンを押して下さい。右端から一文字ずつ消すことができますので正しい番号を入力し直して下さい。
- (2) その他の項目を選択します。
通信速度を変更したい場合や、相手が一般電話(携帯電話・PHSを含む)の場合は、「通信速度」の項目で選択して下さい。

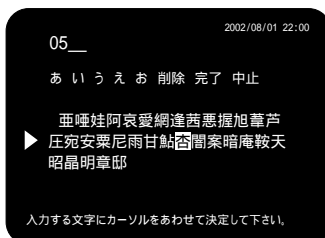
- (3) 「決定」ボタンを押して登録を完了します。

文字入力をマスターしましょう

文字を入力するには



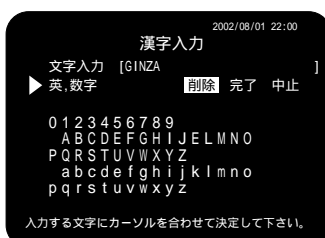
文字種選択画面



入力文字選択画面

- (1) 文字種を「移動」ボタンで選択します。
上下移動をさせると「記号」「英、数字」「ひらがな」「カタカナ」「ギリシャ文字」「ロシア文字」「(漢字入力)のあ行」「か行」...の順で切り替わります。
入力したい文字種を選択し、「決定」ボタンを押します。
- (2) 文字を「移動」ボタンで選択します。
カーソルを移動させて文字を選択し、「決定」ボタンを押すと、入力することができます。
- (3) 入力を完了します。
名前を入力し終えたら、「移動」ボタンで「完了」を選択し、「決定」ボタンを押します。
入力した設定を破棄して設定メニューに戻る場合は「中止」を選択し「決定」ボタンを押します。

入力した文字を訂正するには



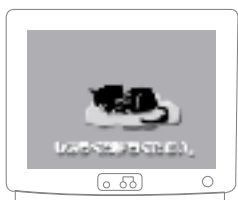
- (1) 「移動」ボタンで「削除」を選択します。
「移動」ボタンで「削除」を選択し、「決定」ボタンを押して下さい。後ろから一文字ずつ消えていきます。
- (2) 正しい文字を入力し直します。

短縮ダイヤルを
利用した
様々な設定

- A. ワンタッチ通信ボタンで特定の番号にかけるには
ワンタッチで接続したい相手の電話番号を短縮ダイヤルに登録します。
サービスメニューの「27. 設定」を選択します。
「発信設定」のアイコンを選択します。
「ワンタッチ発信」発信先種別 - 短縮を選択します。
「ワンタッチ発信」発信先 - 登録した短縮ダイヤルの番号を選択します。
- B. 通信履歴に残った番号を、短縮ダイヤルに登録するには
「ダイレクトネット」を選択して、決定ボタンを押します。
「通信履歴から接続」を選択してください。
通信履歴に残った番号を選択し、「*」を2回押すと、短縮ダイヤルに登録できます。
- C. 登録していない相手からの着信を拒否するには
着信を許可する相手を、短縮ダイヤルに登録します。
「設定」メニューの「着信設定」を選択します。
発信者チェックを「オン」にします。
- D. 短縮ダイヤルへの登録を許可もしくは禁止するには
「設定」メニューの「端末設定」を選択します。
「短縮ダイヤル登録」で、「許可」または「禁止」を選択します。

保留機能を使うには

通信中に「接続」ボタンを押すと、保留状態になります。



保留画面

(相手側に映る画面です。)



相手側に、左図のように「しばらくお待ちください」という画面が表示されます。

保留中は、

- ダイレクトネットの場合は、相手に保留音が聞こえます。
- こちらの音声が相手側には聞こえません。
相手からの音声は聞こえます。

もう一度「接続」ボタンを押すと、保留が解除されます。

3 アイコンを使いこなしましょう

バージョンアップ



TelePortは、通信回線を通じて最新のプログラムをダウンロードして頂くことができます。画面上に「バージョンアップが必要です」と表示された場合は、新しいバージョンのプログラムがリリースされておりますので、お手すきの時にバージョンアップをして下さい。

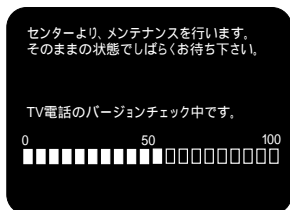
ご購入頂いてから初めてお使いになる前には必ず、お持ちの端末をバージョンアップして下さい。(最初のバージョンアップの際には、別紙の「クイックセットアップガイド」(カラー折込み)をご覧ください)



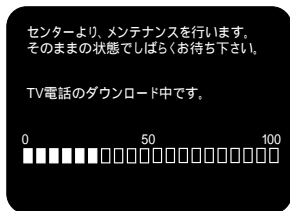
バージョンアップに必要な時間は、内容によって異なりますが数分～十数分です。バージョンアップ作業はすべて自動的に行なわれます。サービスメニュー画面が出るまで、電源を切ったり回線ケーブルを引き抜いたりせず、そのままお待ち下さい。故障の原因となることがあります。

バージョンアップ中の画面

- 「24. 端末機バージョンアップ」アイコンを選択し、サービスの利用者を選んで下さい。
- 「決定」ボタンを押すと、以下のように画面に表示されます。
- 「3017 相手側が話し中(通信中)です」というメッセージが表示されて切断された場合は、回線が込み合っている状態ですので、しばらく待ってから再度おかけ直し下さい。



1.バージョン確認画面

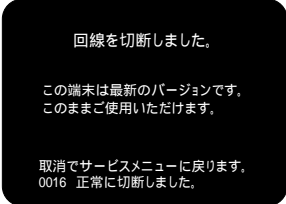


2.ダウンロード中の画面

- (1) 現バージョンの確認 <自動>
お持ちの端末のバージョンを確認します。30秒以上経っても左の画面にならない、または左の画面のまま変化しない場合は、一旦ブレイク(切断)して、ギンガネットテクニカルサポート(06-7688-1717)までお問い合わせ下さい。
- (2) ダウンロード開始 <自動>
お客様の端末が、旧バージョンのものであれば、自動的にバージョンアップを開始します。
- (3) 回線切断・再起動 <自動>
バージョンアップが終了すると、自動的にブレイク(切断)されます。その後、自動的にサービスメニュー画面に戻ります。
- (4) チェックインテスト
サービスメニューの「25. チェックインテスト」にチェックインし、正常に通信できることをご確認下さい。
(24「チェックインテストをしましょう」)

ダウンロードが不要な場合があります。

お持ちの端末が既に最新のバージョンの場合は、ダウンロードの必要がありません。その場合、上記「(1)現バージョンの確認」の後、画面上に「この端末は最新のバージョンです」というメッセージが表示されます。「サービス」ボタンを押して、サービスメニュー画面に戻って下さい。



チェックインテスト



チェックインテストでは、お持ちのTelePortが正常に映像と音声を受信できているかを確認して頂くテストビデオを連続再生しています。

ビデオの内容は、TelePortの使用方法説明となっております。初めてチェックインテストのテストビデオをご覧になる方は、すべての項目をよくご覧下さい。

チェックインテストが必要な時

- A. 画面上に「チェックインテストをして下さい」というメッセージが表示された時
メッセージが表示されているにも関わらずチェックインテストを行わなかった場合、通信中に切断されてしまうことがあります。
- B. 時計が合わなくなった時・・・チェックインテストにはTelePortの時計合わせ機能も付いています。
画面右上に表示される時計が合わなくなった時は、チェックインテストにチェックインして下さい。
- C. 使用環境が変わった時・・・TA(DSU)をお買い替えになった時、お部屋の模様替えや大掃除の後など、ご使用の環境が変化した時には、必ずチェックインテストで正常な通信ができるかどうかを確認して下さい。
- D. バージョンアップの直後

正常な通信ができない、すぐに切断されてしまう等の問題が生じた場合は、ギンガネットテクニカルサポート(06-7688-1717)までご連絡下さい。

ギンガネットクラブ情報



ギンガネットクラブ会員の皆様にお届けする、お知らせビデオを放映しております。

新たなサービスや、バージョンアップのお知らせ等を随時更新しておりますので、定期的にご覧下さい。


サポートダイヤル



TelePortの使用方法を始め、ギンガネットクラブに関するご質問等に、サポートスタッフが、ギンガネット電話にて対応させていただきます。

拡張機能



別売りのオプションカードを利用します。TelePort本体側面の「拡張」スロット( 10「右側面図」)にオプションカードを差し込むと、新たな機能を追加できます。

設定



TelePortはお客様のご使用状況に合わせて、様々な設定をして頂くことができます。より快適な環境でお使い頂けますよう、以下の設定方法をご参照下さい。



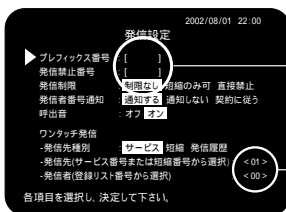
設定メニュー画面

サービスメニューより「27.設定」を選択し、「決定」ボタンを押します。(リモコンの「設定」ボタンを押しても同じ画面を表示できます。

よく使う設定リスト

1. 使っていない時、自動的に電源をオフにするには ----- 「端末設定」-「自動スタンバイ」
2. 音質を調節するには ----- 「映像音声設定」-「音声出力モード」
3. 発信時、電話番号の頭に自動的に0をつけてかけるには ----- 「発信設定」-「プレフィックス番号」
4. 相手に、自分の電話番号や名前を通知してかけるには ----- 「発信設定」-「発信者番号通知」
5. ワンタッチ通信ボタンの接続先を設定するには ----- 「発信設定」-「ワンタッチ発信」
6. かかってきた電話に自動的に応答するには ----- 「着信設定」-「自動応答」
7. 着信音量を調節するには ----- 「着信設定」-「着信音量」
8. TelePortの機能をテストするには ----- 「保守」-「機能診断」
9. 登録済の設定をすべて消去するには ----- 「保守」-「登録データ全消去」

設定方法



1. 設定したい項目に左端の三角のマーク(▶)を合わせます。
2. 以下A. B.いずれかの方法で設定項目内容を入力します。

A. 文字を入力する場合 ([]で表示されます)

まず「決定」ボタンを押し、文字入力の画面になったら、入力して「決定」ボタンを押します。

B. 選択肢がある場合 (<>で表示されます)

「移動」ボタンを左右に押し、希望の設定を選択した後「決定」ボタンを押します。



会員情報設定

2002/08/01 22:00

会員情報登録

▶ 01.会員名 : []
会員番号 : [01234567]
暗証番号 : [XXXX]
暗証番号を保存する : はい いいえ
ISDN電話番号 : []
サブアドレス : []

消去
完了
中止

会員名

登録したい会員の名前を入力します。

この項目に名前を入力しておくと、会員リスト上に表示されるので分かりやすくなります。会員名を登録しておくことで通信中、相手端末に表示されます。ご注意ください。

(46「文字入力をマスターしましょう」)

会員番号

登録したい会員の会員番号(IDナンバー)を入力します。

暗証番号

暗証番号(パスワード)を保存したい場合には、ここに数字を入力します。



暗証番号は、別紙「登録内容確認票」に記載されている番号を入力して下さい。ご自分で決めた番号を入力しても無効です。

暗証番号を保存する

暗証番号を保存するか否かを選択します。

保存した場合、暗証番号をチェックインの度に入力する必要がないので便利です。ただし、登録している会員以外の方でも、サービスを利用することができますので、その点をご了承の上、保存して下さい。

ISDN電話番号

ご使用のISDN回線の電話番号を入力します。

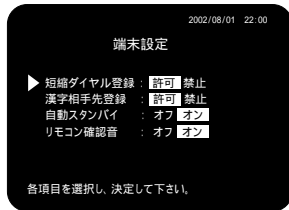
サブアドレス

ISDN電話番号に続けて、好きな番号を登録することができます。通信相手が、サブアドレスまで指定してかけると、同じTA(DSU)に通信機器を複数台接続している場合、ギンガネット電話のみに着信させることができます。

また、複数会員で使用している場合、会員ごとにサブアドレスを指定することができます。通信相手は、会員を指定してかけることができます。(66「用語集-サブアドレス」)



端末設定



短縮ダイヤル登録

短縮ダイヤル登録の許可もしくは禁止を設定します。

(お買い上げ時の設定では「許可」)

漢字相手先登録

短縮ダイヤル等、相手先の名前を登録する際、漢字の使用許可もしくは禁止を設定します。(お買い上げ時の設定では「許可」)

自動スタンバイ

何も操作をせずに一定時間(5分)が過ぎると、自動的に電源をオフにする設定ができます。

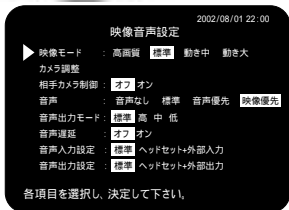
(お買い上げ時の設定では「オン」)

リモコン確認音

リモコンを押した時に、ヘッドセットから確認音を鳴らすか否かを選択できます。確認音は、正しいときには「ピッ」、間違えて押したときには「ブッ」と鳴ります。(お買い上げ時の設定では「オン」)



映像音声設定



映像モード

映像の4つのモードを切り替えます。(高画質 / 標準 / 動き中 / 動き大)

(左へ行くほど高画質に、右へ行くほど動きがスムーズになります)

(お買い上げ時の設定は標準)

カメラ調整

カメラ映りを調整します。

～調整方法～

(1)「カメラ調整」に三角のマーク(▶)を合わせ「決定」ボタンを押します。

(2)調整したい項目に三角のマーク(▶)を合わせます。

(3)「移動」ボタンで設定値を変更します。

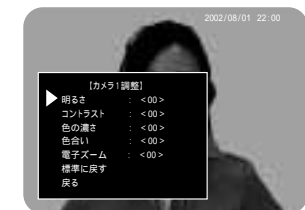
各設定値は -16 ~ +16 まで変更できます。

(電子ズームは 00 ~ +16 まで変更可能)

カメラ映りを確認しながら、お好みの数値に設定して下さい。

「標準に戻す」に三角のマーク(▶)を合わせ「決定」ボタンを押すと、すべての値が00に戻ります。

(4)「戻る」を選択し、「決定」ボタンを押すと映像音声設定メニュー画面に戻ります。



カメラ調整画面

調整できる項目は、以下の7項目です。(カメラを外付けした場合は5項目です)

[1]明るさ...明るさを調整します。値が増えるほど明るくなります。-16 ~ +16まで変更できます。(お買い上げ時の設定では「00」)

[2]コントラスト...被写体の明暗の差を設定します。値が増加するほど差がはっきり映ります。

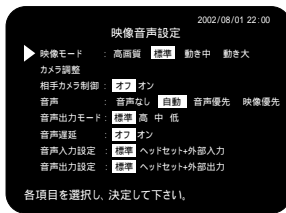
-16 ~ +16まで変更できます。(お買い上げ時の設定では「00」)

[3]色の濃さ...色の濃度を調整します。値が増加するほど濃くなり、減少するほど薄くなります。

-16 ~ +16まで変更できます。(お買い上げ時の設定では「00」)

[4]色合い...-16 ~ +16まで変更できます。(お買い上げ時の設定では「00」)

[5]電子ズーム...00 ~ +16まで変更できます。(お買い上げ時の設定では「00」)



相手カメラ制御

相手側で、オプションの可動式カメラを付けている場合、その動きのコントロールももしくは不可を切り替えます。相手側もオンにする必要があります。

(お買い上げ時の設定はオフ)

音声

以下の4つの設定に切り替えることができます。

音声なし / 自動 / 音声優先 / 映像優先

(お買い上げ時の設定では「自動」…通信回線速度によって音声優先 / 映像優先が自動で切り替わります。)

音声出力モード

出力音質を選択できます。標準 / 高 / 中 / 低(お買い上げ時の設定では「標準」)

音声遅延

映像と音声のずれを補正します。(お買い上げ時の設定は「オフ」)

音声入力設定

標準: ヘッドセット(マイク)接続時に外部音声入力をオフにします。

ヘッドセット+外部入力: マイク入力と外部音声入力をミックスします。

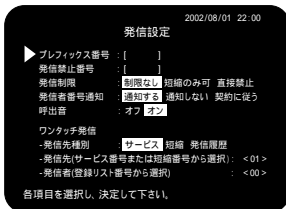
音声出力設定

標準: ヘッドセット(スピーカ)接続時に外部音声出力をオフにします。

ヘッドセット+外部出力: ヘッドセット(スピーカ)出力と外部音声出力双方に同じ音声を出力します。



発信設定



プレフィックス番号

「サービスメニュー」「通信履歴」「短縮」の画面で、0発信等を行いたい場合、設定します。予めここで番号を登録しておき、チェックイン時にプレフィックスを「有」にすると、この番号が入力した電話番号の前に自動的に付きます。

発信禁止番号

「ある特定の市外局番」など、ここで設定した番号から始まる電話番号の相手への発信を禁止することができます。

発信制限

発信方法の制限を行うことができます。制限方法は以下3種類あります。(お買い上げ時の設定では「制限なし」)

- (1) 制限なし
- (2) 短縮ダイヤルでの発信のみ許可
- (3) 直接禁止 電話番号を入力しての発信を禁止します。(お買い上げ時の設定では「制限なし」)

発信者番号通知

通信時、相手側に電話番号および会員名を通知するかかを選択できます。

(お買い上げ時の設定では「通知する」)

呼出音

呼出音のオンもしくはオフを切り替えます。(お買い上げ時の設定では「オン」)

ワンタッチ発信

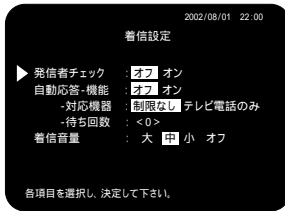
ワンタッチ通信ボタンを押した時に、発信する先を設定できます。

お買い上げ時の設定では、ボタンを押すと「01. 予約済サービスへワンタッチでチェックイン」につながります。

- (1) 「発信先種別」 サービスメニュー / 短縮ダイヤル / 発信履歴
- (2) 「発信先」 「発信先種別」で選択した中の、どの番号かを選択します。
(お買い上げ時の設定では「サービス - 01. 予約済サービスへワンタッチでチェックイン」)
- (3) 「発信者」 会員情報リストより、どの会員が発信するかを選択します。「00. 番号を直接入力する」を選択した場合は、ワンタッチ通信ボタンを押すごとにサービス利用者を変更することができます。



着信設定



発信者チェック

オンにすると、短縮ダイヤルに登録している方からの着信にのみ応答できます。それ以外は、自動的に拒否します。(お買い上げ時の設定は「オフ」)

自動応答 - 機能

ダイレクトネット利用時、相手からの着信に自動で応答する機能です。オンにすると自動応答します。オフの場合は、手動応答です。(お買い上げ時の設定はオフ)

自動応答 - 対応機器

どの機器に自動応答するかを設定します。(お買い上げ時の設定は「制限なし」)

自動応答 - 待ち回数

自動応答時に鳴らす着信音の長さを設定します。設定値を1上げると着信音が3秒間ずつ長く鳴ります。(お買い上げ時の設定は「0」)

着信音量

着信音量を選択し、設定します。(お買い上げ時の設定は「中」)



保守



機能診断

ご自分の音声・映像・回線の状態をチェックできます。

～診断方法～

- (1) 「映像」「音声」「ISDN」のうち、チェックしたい項目を選択し、「決定」ボタンを押します。
- (2) 別の項目をチェックする場合は、一旦「停止」を選択し、「決定」ボタンを押します。

「映像」: 相手側に送信するご自身の映像が表示されます。

「音声」: 相手側に送信するご自身の音声ヘッドセットから聞こえます。

「ISDN」: 回線を使用した場合の、映像と音声を併せて確認できます。

回線ケーブルが接続されていない場合は「回線はずれ」のメッセージが表示されます。

管理者コード

正しい管理者コード(最初に登録する数字)を入力した場合だけ、各種設定画面が表示されるようになります。コードを入力しないと、各種設定画面が表示されません。

登録データ全消去

会員情報・短縮ダイヤル・通信履歴・端末情報等、ご自身で入力したデータすべてを消去します。

端末リセット

端末の設定をすべて初期状態に戻します。

TelePort 301/TelePort 301G情報

TelePortに関する情報が記載されています。

ソフトウェア/ハードウェア/シリアル番号/製造元

議長機能サービス

ミーティングネットに参加している会員の中から議長役を決め、議長がミーティングネット参加各端末の画面構成や画面分割数の変更等を行えるサービスです。

このサービスをご利用いただくにはミーティングネットオプションサービス「議長機能」サービスにお申し込み頂く必要があります。サービス内容や料金については別紙「通信回線インフォメーション」をご参照下さい。

ご利用までの流れ

- 1** <ミーティングネットご利用前>ミーティングネットサービスの予約時に「議長機能」サービスを申し込む。

ミーティングネットサービスの予約時にオプションサービス「議長機能」を申し込みます。
予約時に議長機能を利用できない会員を決めることもできます。その場合は予約時にオペレーターにお申し出下さい。
- 2** <ミーティングネットご利用中>ミーティングネット参加端末の中から議長を決定する。

ミーティングネットサービスに接続した参加端末の中から、ミーティングネットの設定等を変更できる権限を持った「議長」端末を決定します。議長権の獲得方法(60「議長権」)

議長機能には議長のみが使用可能な機能と、議長以外の端末でも使用できる機能があります。

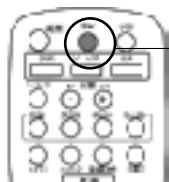
	受信選択	同報送信	画面構成	会議モード	議長権	予約延長	自室送信
議長	○	○	○	○	○	○	
議長以外の参加端末	○				○		○
- 3** 議長機能を利用する。

ミーティングネットサービスご利用中に議長機能を利用することができます。

議長機能メニュー画面



設定メニュー画面



(1) リモコンの「設定」ボタンを押します。
設定メニューアイコンが表示されます。



議長機能メニュー画面



(2) もう一度リモコンの「設定」ボタンを押します。
議長機能メニューアイコンが表示されます。



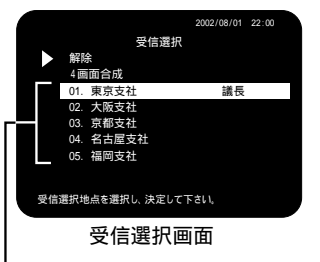
議長機能メニューは「議長機能」サービスを申し込んだ上で、ミーティングネットに接続した時のみ表示させることができます。
非通信中や「議長機能」サービスに申し込みしていない時は、議長機能メニューを表示させることはできません。

議長機能メニューアイコンの説明



受信選択 (👑 議長 / 👤 議長以外の端末どちらも操作可能)

選択した端末のカメラからの映像を自分の端末にだけフルスクリーンで表示させることができます。他の地点の端末の画像は変わりません。



解除

選択していた画面構成を元の状態に戻します。

4画面合成

フルスクリーンから4分割の画面に変更することができます。

「12+1」分割画面/16分割画面サービスご利用の際にはこの機能を利用することができません。

端末の選択 (フルスクリーン表示時)

見たい相手を選びます。

01. は自分の端末になります (反転表示されます。)

02. 以降はミーティングネットの他の参加者が順に表示されます。

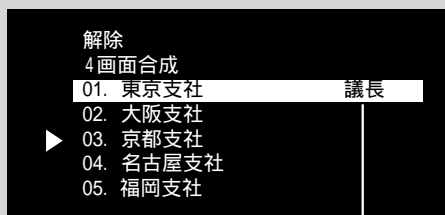
会員情報登録にて会員名を登録している場合は、数字の横に会員名が表示されます。会員名を入力していない場合は空欄となります。

(51 会員情報設定)

設定方法

1. 設定したい項目に左端の三角のマーク (▶) を合わせます。
2. リモコンの「決定」ボタンを押します。

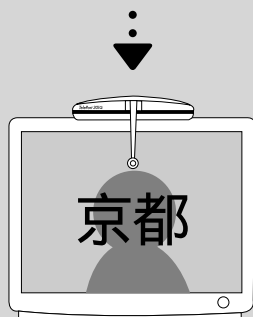
例) 東京、大阪、京都、名古屋、福岡の5地点の会員が順に接続し、東京の会員が京都の画面を表示したい場合



受信選択画面 (拡大図)

リモコンの「移動」ボタンの上または下を押して三角のマーク (▶) を「03. 京都」に

自分の端末が議長権を取得している場合には「議長」と表示されます。



東京の受信映像 (受信画)

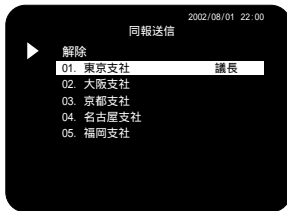
京都から送られてくる映像がフルスクリーンで表示されます。



同報送信 (議長のみ操作可能)

議長が送信元として選択した端末のカメラからの映像を、全端末()にフルスクリーンで表示させることができます。

同報送信元の端末の受信画は変更されません。



同報送信画面

解除

選択していた画面構成を元の状態に戻します。


端末の選択

送信元となる端末を選択します。

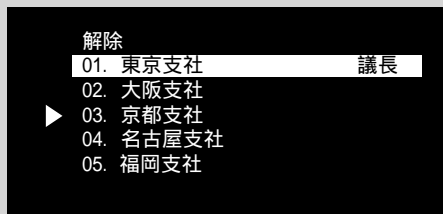
01. は自分の端末になります (反転表示されます。)

02. 以降はミーティングネットの他の参加者が順に表示されます。

会員情報登録にて会員名を登録している場合は、数字の横に会員名が表示されます。会員名を入力していない場合は空欄となります。

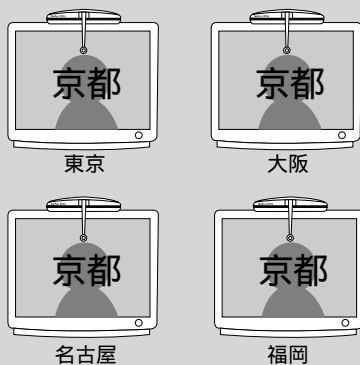
( 51「会員情報設定」)

例) 東京、大阪、京都、名古屋、福岡の5地点の会員が順に接続し、東京の会員が京都の画像画面を同報送信したい場合



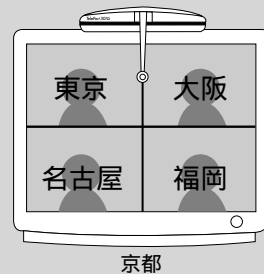
同報送信画面 (拡大図)

リモコンの「移動」ボタンの上または下を押して三角のマーク (▶) を「03. 京都」に合わせ、「決定」ボタンを押します。



同報送信元以外の会員の受信映像 (受信画)

京都の映像 (送信画) が京都以外の参加端末にフルスクリーンで表示されます。



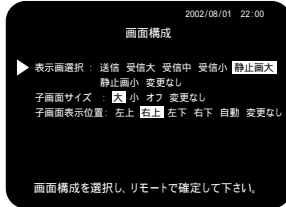
同報送信元 (京都) の端末の受信画は変更されません。



画面構成 (議長のみ操作可能)

選択した端末の画面構成を変更することができます。

(1) 変更したい画面構成を決めます。



画面構成画面 (1)



表示画選択

選択した端末の画面に表示させる映像の種類を決めることができます。

送信 / 受信大 / 受信中 / 受信小 / 静止画大 / 静止画小 / 変更なし

子画面サイズ

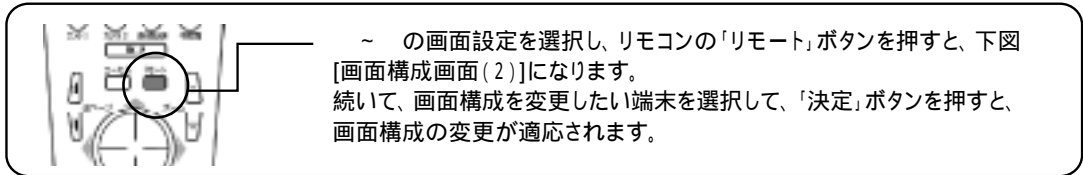
選択した端末の子画面のサイズを決めることができます。

大(1/4サイズ) / 小(1/9サイズ) / 変更なし

子画面表示位置

選択した端末の子画面の位置を決めることができます。

左上 / 右上 / 左下 / 右下 / 自動 / 変更なし



～ の画面設定を選択し、リモコンの「リモート」ボタンを押すと、下図 [画面構成画面(2)] になります。

続いて、画面構成を変更したい端末を選択して、「決定」ボタンを押すと、画面構成の変更が適応されます。



(2) 変更したい端末を選びます。



画面構成画面 (2)

全端末

議長以外の全端末の画面構成を変更します。

端末の選択

選択した端末の画面構成を変更することができます。

01. は自分の端末になります (反転表示されます。)

02. 以降はミーティングネットの他の参加者が順に表示されます。

会員情報登録にて会員名を登録している場合は、数字の横に会員名が表示されます。会員名を入力していない場合は空欄となります。

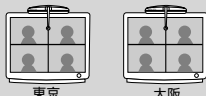
(51「会員情報設定」)

例) 東京 (議長) が表示画選択: 「静止画大」、子画面サイズ: 大、子画面表示位置: 右上で名古屋の端末の画面構成変更を行った場合。



名古屋の画面構成

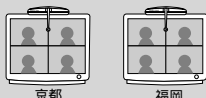
名古屋の受信画には「静止画」、画面右上には「1/4サイズの子画面」が表示されます。



東京

大阪

名古屋以外の端末の画面構成は変更されません。



京都

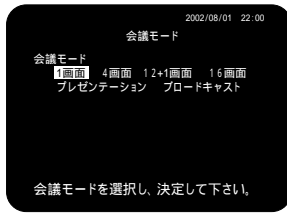
福岡

名古屋以外の端末の受信映像 (受信画)



会議モード (議長のみ操作可能)

ミーティングネットサービスの会議モードを変更することができます。



会議モード画面

会議モード

会議モードを下記の6つの中から選択し、全端末の受信画を変更することができます。

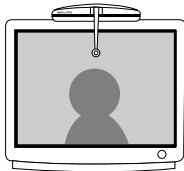
1画面 / 4画面 / 12+1画面 / 16画面 / プレゼンテーション / ブロードキャスト

12画面と16画面モードを選択するためには、ミーティングネット予約時に予め別途オプションサービスを申し込む必要があります。




ミーティングネットオプションサービス「12+1分割画面サービス」、「16分割画面サービス」を利用中にはプレゼンテーションモードとブロードキャストモードをご利用頂くことができませんのでご注意ください。

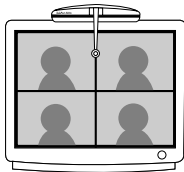
会議モードの種類



1画面(フルスクリーン)モード

ミーティングネット参加者の送信画がフルスクリーンで表示されます。

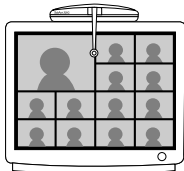
3人以上参加者がいる場合は音声切替え機能により、声を発した人がフルスクリーンに表示されます。( 36「チェックイン中のご注意」)



4画面モード

ミーティングネット参加者が4分割画面で表示されます。

5人以上参加者がいる場合は画面に表示されていない人が声を発すると、音声切替機能により、4分割画面に表示されます。

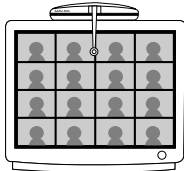


12+1画面モード

ミーティングネット参加者が12+1分割画面で表示されます。

声を発した人の送信画が1/4サイズの大画面に表示されます。

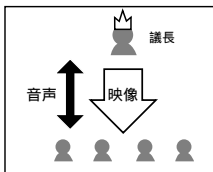
14人以上参加者がいる場合は画面に表示されていない人が声を発すると、音声切替機能により、1/4サイズの大画面に表示されます。



16画面モード

ミーティングネット参加者が16分割で表示されます。

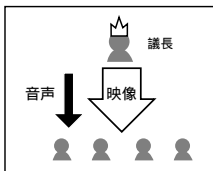
17人以上参加者がいる場合は画面に表示されていない人が声を発すると、音声切替機能により、16分割画面に表示されます。



プレゼンテーションモード

議長以外の端末には議長の送信画がフルスクリーンで表示されます。音声のやりとりは全員ができ、議長の受信画には声を発した人の送信画がフルスクリーンで表示されます。

議長が受信選択機能を利用することにより、議長の受信画を変更することが可能です。



ブロードキャストモード

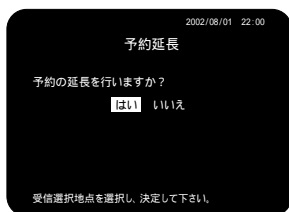
議長以外の端末には議長の送信画がフルスクリーンで表示されます。音声も議長の音声のみ聞くことができます。議長の受信画には議長以外の参加会員の送信画が20秒ごとにフルスクリーンで切り替わります。

議長が受信選択機能を利用することにより、議長の受信画を変更することが可能です。



予約延長 (👑 議長のみ操作可能)

予約した会議の終了時間を30分延長することができます。



[予約延長画面]

予約延長

予約を延長する場合「はい」を選択し、リモコンの「決定」ボタンを押します。

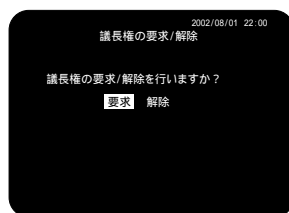
予約状況によっては延長できない場合もございますので予めご了承下さい。

端末からできる予約延長操作は1会議につき1回のみになります。2回目以降の延長を希望される場合は、ミーティングネット予約ダイヤル(06-7688-1212)へお電話にてご連絡下さい。



議長権 (👑 議長 / 👤 議長以外の端末どちらも操作可能)

議長機能を利用できる端末の中から1台のみ議長の権利を獲得することができます。また、議長は自分の議長権を解除することができます。



[議長権画面]

議長権-要求

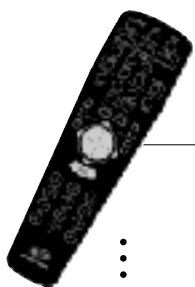
議長になりたい場合は「要求」を選択し、リモコンの「決定」ボタンを押すと議長権を獲得できます。

他の参加端末が議長権を獲得している場合は、議長権を獲得することはできません。その際は、「議長権要求は拒否されました。」と表示されます。

議長権-解除

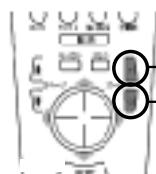
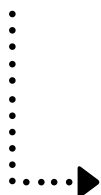
議長の権利を解除したい場合は「解除」を選択し、リモコンの「決定」ボタンを押すと議長権を解除することができます。

この操作を行うと、ミーティングネットに参加している他の端末が議長権を要求することができるようになります。



自室送信 (👤 全参加端末で操作可能)

自分の端末のカメラ映像(送信画)を自分以外の参加端末にフルスクリーンで表示させることができます。



リモコン(拡大図)

リモコンの「T」ボタンを押します。

自分以外の参加端末にカメラ映像(送信画)がフルスクリーンで表示されます。

リモコンの「W」ボタンを押します。

自室送信機能を解除します。



参加端末のいずれかが議長権を取得した状態では、全ての参加端末で自室送信機能は使えません。